

## 「一念岩をも通す」

校長 桐野 和之

中国からきた諺に、「一念岩をも通す」という言葉があります。「一念」とは、一つのことに思いを込めるということです。昔、中国の弓の名人が、大きな岩を寅だと思って必死に矢を放つたら、その矢が岩に突き刺さったというのです。強い気持ちを込めて放つ矢は、硬い岩をも貫くことができるというのです。

皆さんは歴史的分野の学習で、中国の僧、鑑真について学んだ（学ぶ）と思います。今号の学校だよりでは「一念岩をも通す」ようなことをした鑑真のことについて紹介します。



今から約1300年前の奈良時代、当時の聖武天皇は仏教を厚く信仰していました。ところが、当時の日本には正しい仏教を教えることができる僧、お坊さんはいませんでした。そこで、中国から正しい仏教を知っている偉い僧を呼ぼうと考え、日本に来てくれる僧を探しました。しかし、その頃、中国から海を渡って日本に来るには大きな危険が伴いました。当時は小さな船しかありませんでしたので、遭難したり、遠い島に流されたりすることがとても多かったです。ですから、誰も日本に行こうとする僧はいませんでした。すると鑑真是「仏の教えを広めるのに、命を惜しんでいられようか。誰もいないなら、私一人でも海を渡ろう」と日本に来る決意をしました。

鑑真是、さっそく日本に渡る船の準備にかかります。しかし、国の許可が下りず、船は、役人に取り上げられてしまいます。二回目、三回目は強い風と波のために、船は中国の海岸に打ち上げられてしまいます。それでもあきらめず、四回目を計画しましたが、今度は鑑真的弟子たちが「危険なのでやめよう」と強く反対したので、計画は進みませんでした。でも、鑑真是五回目に挑戦します。

さて、どうなったかというと、結果は失敗です。今回も鑑真的乗った船は、嵐に遭ってしまい、遠く南の海南島という島に流されてしまったのです。おまけに、長年の疲れのためか、鑑真的目は見えなくなってしまったのです。

しかし、盲目になつても鑑真是あきらめませんでした。そして六回目、鑑真的乗った船は、途中で嵐に遭いましたが、やつとのことで鹿児島県の坊津というところに流れ着くことができたのです。鑑真が日本に行くことを決意してから、実に12年の月日が経っていました。



こうして日本にやってきた鑑真是、当時の孝謙天皇や上皇となっていた聖武天皇をはじめ、大勢の日本人に正しい仏教を授けました。奈良に唐招提寺というお寺があります。鑑真が日本で仏教を広めるために建立したお寺です。

鑑真是日本で仏教を広めるだけでなく、貧しい人を助ける活動もたくさん行いましたが、日本に来てから11年後、76歳で亡くなりました。今でも、唐招提寺には、目は開いていませんが、強い意志を感じさせる顔をした鑑真的像が残されています。こうした鑑真的行動は、日本に仏教を広めたいという「一念」が「岩をも通した」と言えるのではないでしょうか。皆さんは、今、いろいろな夢をもっていると思います。その夢を実現させるためには、いろいろと困難なことがあるでしょう。でも、その夢の実現に向けて、鑑真的ように「一念岩をも通す」の気持ちをもち続け、努力してほしいと思います。

# 合唱コンクールを終えて

音楽科 上野 美貴子

晴天の中で実施された合唱コンクール。今年も各学年とも成長が見られ、充実したものとなりました。

先ず一年生。リハーサルで見つけた課題も一週間の練習の頑張りで、かなり改善されていました。緊張しながらも、精一杯元気な歌声を響かせていた姿が印象に残りました。

続いて二年生。一年の時よりも自由曲がレベルアップしたものばかりで、取組にも意欲が見られました。男声の厚みのある低音が合唱を支え、全体合唱に続き、各クラスとも、とても力のある歌声でした。

そして、三年生。課題曲の「大地讃頌」が四声に分かれているため、各クラスとも、バスパートの音程とハーモニーづくりに苦労しました。練習中から、廊下に響き渡っていた歌声が、会場に届けられました。各クラス、課題曲はていねいに、そして自由曲は、細かいところまで曲想を工夫しながら、三年間の集大成とも言える合唱を披露してくれました。

選抜合唱は、朝、昼のわずかな時間を利用して練習に励み、ドイツ語の「歓喜の歌」と「親知らず子知らず」を力強く、そして曲想豊かに歌い上げました。

今年も指揮者、伴奏者が活躍し、クラスの合唱作りに貢献してくれました。今後さらにレベルアップされることを願います。

保護者の皆様も多数のご参観ありがとうございました。来年も会場にすてきなハーモニーを響かせてくれることを期待します。



## 生徒作文

3年生 女子生徒

今年の合唱コンクールは、一、二年の頃とは違って、少しは積極的になれたと思います。

練習では、前までは音を外すことを怖がって、積極的に歌うことができませんでした。でも、今年は違いました。音を外したり、歌詞を間違えたりしても、とにかく楽しんで歌うことができました。今年の曲はすごく難しかったので、本番の直前まで、少し自信がありませんでした。特に苦労したのが、「大地讃頌」の「ああ」という部分です。「たたえよ大地を」という部分までは、音程が低めなのに対して、「ああ」という部分は、いきなり上がるるので、音が取りづらくて、ソプラノにつられてしまったりして、とても苦労しました。音をしっかり取れている子の声を頼りにしたりして、自分だけでも、他パートにつられず、しっかり音が取れるように練習をしてきました。一、二年の時と比べて、最後の練習の時に、「やりきった」と強く思うことができました。

当日、朝練の時、さっと練習をはじめることができませんでした。「A組らしいな」と思いました。発表が始まって、一年生の歌がそれぞれ個性的で、とても驚きました。二年生は、一年生より男声の厚みが増していて、ボーカルソプラノがけつ



こういて、男子の高音がとても新鮮に感じました。午前の部が終わって、ご飯を食べた後、リハーサル室で練習をしました。音の確認とか、顔をしっかり動かすことを意識して歌いました。三年生の部が始まると、それまではなかった、緊張とかがどっときて、頭が真っ白でした。ステージに上がると、むしろ「やるしかない」という気持ちになって、思いきり歌うことができました。

結果、金賞を取ることができました。初めてだったのすごくうれしかったです。でも、何よりうれしかったのは、今までで一番、楽しんで歌えたことです。ステージの上でも楽しんで歌えるようになったことは、自分の成長だと思うので、自信をもって、いろんなことに挑戦していきたいです。



## 「いじめ」

朝礼講話より

みなさん「人権」って知っていますか？

これは人が生まれながらにもらっている権利です。他人の権利を侵害しない限り、人が自由に生きる権利です。

また、公共の福祉に反しない限り、十分に尊重される権利なのです。日本国憲法でも保障されているのです。

しかし、これを侵してしまう出来事が学校の中でも残念ながら起きることがあります。それは「いじめ」です。いじめにはいろいろあります。

からかい、暴力、SNS等での誹謗中傷。暴力には言葉の暴力もあります。人が見ていないところや気が付かれにくいところで起こります。

私にもいじめられた経験があります。小学校6年生の時だったと思います。何がきっかけだったかは良く覚えていません。でも、10対1ぐらいの構図になったのです。

無視されたり、からかわれたり、対立する相手側から発せられる言葉は、もの凄く、自分の心に突き刺さるのです。一言、一言が凄く辛いのです。

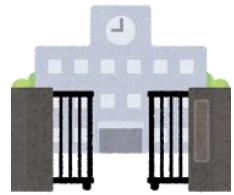
楽しい場所であるはずの学校が全然楽しくなくなりました。1週間ぐらいそのような状況が続いたと思います。恥ずかしくて、親には言えませんでした。でも、辛く堪えたことは覚えています。

どうやって解決したかというと、それは皆さんに絶対にお勧めできない方法なのです。それは腕力です。腕っ節が強かった自分は、10人の中心人物に、何かをからかわれたときに、つい我慢できなくなり、手が出てしまったのです。相手を殴って泣かしてしまったのです。そうしたらなんか無性に悲しくなり、自分も泣き、互いに泣きながら仲直りしたことを覚えています。

暴力はどんなことがあってもダメです。そして、いじめは絶対に許されることではありません。それは法律にも定められています。ちょっとからかっている。いじっているだけ。それは相手のことを全く考えていない、一方的な行為です。私はいじるという言葉もあまり好きではありません。

いじめは人権を侵害する行為。絶対にやめてください。また、もしいじめられたらどんな事があっても、いろいろな手段を使って、必ず学校はいじめられているその子を救います。助けます。だから必ず相談して、真実を教えてください。

最後にもう一度、言います。いじめは人権を侵害する行為です。そして、いじめられている人の親は、いじめられている我が子を見て、一体どんなことを思い、感じるのか、しっかりと考えてください。あなたの方もやがては大人になり、親となります。



男子柔道部…第20回第3ブロック中学校新人柔道大会：平成30年9月16日(日)

結果：男子個人戦 50kg級 1年 1名 …優勝  
55kg級 2年 1名 …第3位  
60kg級 1年 1名 …第3位  
73kg級 2年 1名 …優勝  
81kg級 1年 1名 …優勝



男子団体戦 準優勝

第71回練馬区民体育大会柔道競技の部：10月7日(日)

結果：中学校1年生男子の部 1名 …準優勝  
2名 …第3位

中学校2年生男子の部 1名 …第3位

中学校団体の部 貫井Aチーム、貫井Bチーム …第3位

女子柔道部…第20回第3ブロック中学校新人柔道大会新人体重別女子選手権大会：平成30年9月16日(日)

結果：女子個人戦 40kg級 2年 1名 …優勝、1年 1名 …第3位  
44kg級 1年 1名 …第3位  
48kg級 2年 1名 …優勝  
52kg級 2年 1名 …優勝、1年 1名 …第2位  
57kg級 2年 1名 …優勝、2年 1名 …第2位  
1年 1名 …第3位  
70kg級 2年 1名 …優勝  
70kg超級 2年 1名 …優勝

女子団体戦 優勝

第71回練馬区民体育大会柔道競技の部：10月7日(日)

結果：中学校女子の部 3年 1名 …優勝、2年 1名 …準優勝  
2年 1名 …第3位

バドミントン部…第55回練馬区中学校総合体育大会バドミントン新人大会：9月29日(土)・10月4日(日)

結果：男子団体 1回戦(2-0対開進二中) 2回戦(2-1対中村中) 準々決勝(0-2対開進一中)  
順位決定戦(1-2対光一中)

女子団体 1回戦(2-0対光一中) 2回戦(1-2対中村中)

男子シングルス 2年 1名 …第6位、1名 …3回戦敗退  
2名 …2回戦敗退

女子シングルス 2年 1名 …ベスト8、1名 …2回戦敗退、  
1名 …3回戦敗退、1名 …1回戦敗退

男子ダブルス 2年、1年…1回戦敗退

女子ダブルス 2年…3回戦敗退  
2年、1年…2回戦敗退

剣道部…練馬区中学校秋季剣道大会：9月30日(日)

結果：男子団体 予選リーグ敗退(0-4対関中、0-5対大泉二中)  
女子団体 予選リーグ第2位(2-1対上石中、0-4対三原台中)  
決勝トーナメント 一回戦敗退(0-4対大泉中)

卓球部…第71回練馬区民大会卓球競技会(男女中学生の部)：10月6日(土)・7日(日)

結果：女子個人 1年 2名 …ベスト32  
男子個人 2年 1名、1年 2名 …ベスト32  
女子団体 予選敗退  
男子団体 (予選1位) 決勝トーナメント進出 …第3位

英語部…桐蔭林東京成徳大学高等学校主催英語レシテーションコンテスト：9月22日(土)

結果：3年 1名 …第3位 (演題「I have a dream」)

吹奏楽部…練馬区立中学校連合音楽会にて演奏(練馬文化センター)：10月5日(金)

貫井町会「親子スポーツ大会」にて演奏：10月7日(日)

